見る見る見る

見る観る診る視る看る……

「みる」という言葉には

たくさんの漢字があてはまります。

みえているものを踊る？

みえていないものを描く？

ダンサー／振付家・砂連尾理と共に
3 回のワークショップを重ね、
美術家・中島麦が創る
アートとの偶然の出会いを紡ぎ出す参加者を募集します。

ワークショップ：2022 年 10 月 9 日、11 月 6 日、12 月 11 日
いずれも 14：00～16：00
リハーサル：2023 年 1 月 7 日 (時間未定)
本　　番：2023 年 1 月 8 日 14：00 開演
※出来る限り全日程のご参加をお願いします。
場　　所：茨木クリエイトセンター ほか
参 加 料：3,000 円　※ワークショップ初日にお支払いください
申　　込：www.ibabun.jp　※9 月 3 日受付開始
問 合 せ：茨木市文化振興財団・文化事業係　☎072-625-3055
(10:00~17:00)

※砂連尾理は 10 月、11 月はオンラインでのワークを経て、12 月は対面でのワークショップを実施します。尚、中島麦は全ての回、対面で参加します。

砂連尾 理 jareo osamu　振付家/ダンサー
91 年、寺田みさことダンスユニットを結成。近年はソロ活動を中心に京都・舞鶴の高齢者との「とつとつダンス」、
宮城・閖上（ゆりあげ）の避難所生活者の取材が契機となった「猿とモルターレ」、
病、障害などを〈生きる過程にある変容〉と捉え、対話を通してダンスへと変換する「変身ーええ、私です。又あなたです。」などがある。
著書に「老人ホームで生まれた〈とつとつダンス〉―ダンスのような、介護のような―」（晶文社）。
立教大学　現代心理学部・映像身体学科　特任教授。

中島 麦 nakajima mugi　美術家
京都市立芸術大学美術学部油画専攻 卒業
茨木市在住
抽象絵画を制作する事を中心に、そこから拡張する出来事を取り込みながら活動中。
その活動を通して、私自身が何ものからも自由で、何ものをもつなぐメディウムでありたいと考えている。
絵画の基本要素である「動き・奥行き・光」を探求し、近年はそこに物質が重力により流れる時間を加える作品を制作。作品を通して「観る」ことの根源的な意味を提示出来ればと考えている。
個展、企画展、アートフェア、地域型アートイベント等、展示多数。

参加者募集

【主催】(公財)茨木市文化振興財団